



まだ誰も知らない安心を、ともに。

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



～SAFE TOWN DRIVE おかやま～ DX活用した自動車保険で地域課題解決

令和7年度



代理店様を媒介とした保険契約の引き受け

自動車保険を中心とした保険契約の引受や新たな商品開発してます。

事故や災害にあわれたお客さまをサポート

事故にあわれたお客さまに保険金をお支払いし、
一日でも早く元の生活に戻っていただくことをサポートします。



お相手との示談交渉

事故のお相手や相手の保険会社と事故の責任割合の打ち合わせや、
示談交渉をご契約者さまに代わって行います。



**地域のみなさまと一体となり、安心・安全なクルマ社会の
実現に向けた取組みをすすめています。**



本日お話しさせていただく内容

交通事故を“起こさない”、 交通事故に“巻き込まれない”



実際に
災害が発生
すると・・・

交通事故の
未然・再発
を防止

交通事故
リスク

- 他人の身体や財物に損害を与える
- 法律上の損害賠償責任を負う

当社で対応した事故を例に、
未然防止の重要性についてお伝えします。

- 事故を防止するために
- 過失の考え方
- 後遺障害の悲惨さ
- **ドライブレコーダーの活用**



- ◆ 『Sustainable Development Goals』(持続可能な開発目標)の略称
- ◆ すべての国を対象に、「経済」・「社会」・「環境」の3側面のバランスを重視

SDGsは、『誰一人取り残さない』 社会の実現に向けたゴールでありツール

- ✓ 2020年～2030年までに世界中のすべての国や人が協力して達成すべき「目標」
- ✓ 「誰一人取り残さない」をスローガンに、全人類の生活を豊かにする、世界共通の「目標」
- ✓ SDGsの考え方は、Z世代を中心に購買行動だけでなく、職業観等にも定着

【2030年に向けた国際目標】

持続可能な社会の実現に向けた
『世界を変えるための17のゴール』

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

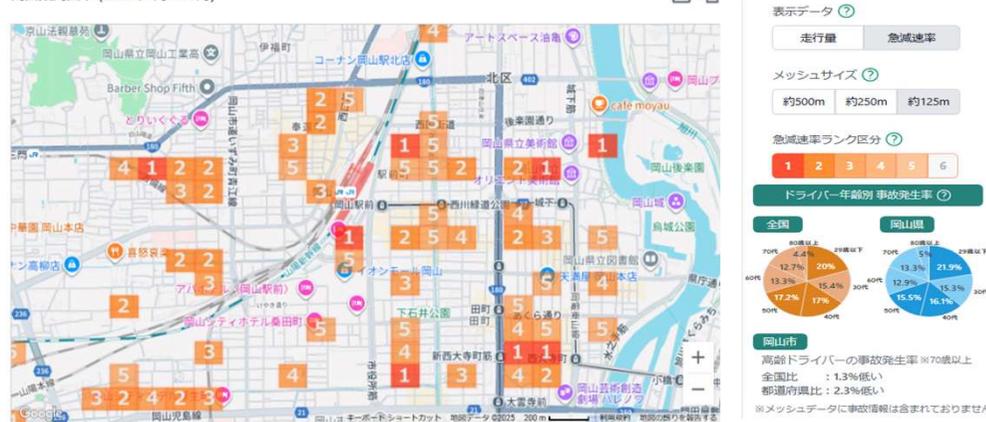


交通安全におけるSDGs取組み

✓ テレマティクス交通安全マップ

「急ブレーキ・急減速発生率」に基づき
地域の危険箇所候補を地図上で可視化

岡山県岡山市 (2023年1月～12月)



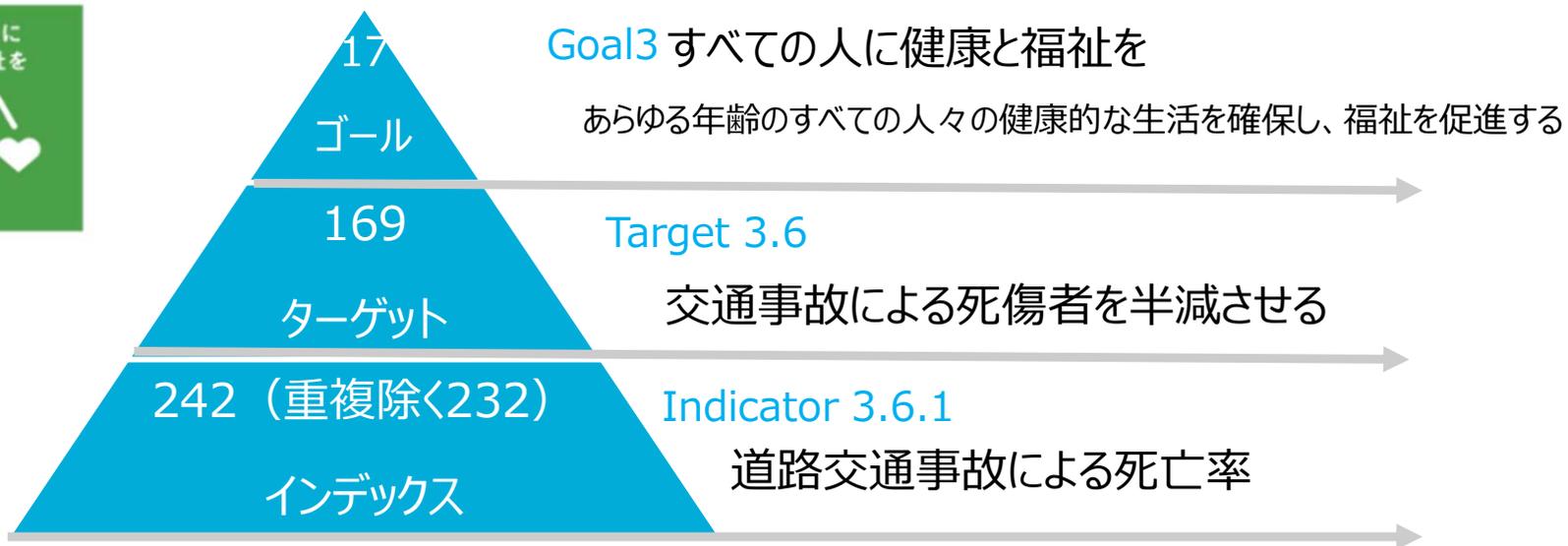


SDGsの構成

(指標例)



<SDGsの階層イメージ>



～本日のセミナーを通して、以下のGoalと結び付け～

3 すべての人に健康と福祉を



<Goal.3>

すべての人に健康と福祉を

<Target.3.6>

道路交通事故による死傷者を半減させる

11 住み続けられるまちづくりを



<Goal.11>

住み続けられるまちづくりを

<Target.11.3>

包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する



交通事故の発生状況

発生件数（全国）	307,930
負傷者数	362,131
死者数	2,663

出典：「交通事故の発生状況について 令和5年」警察庁

—事故を防止するために—

- **相手の行動を正しく読む**（先の行動、目に見えない行動まで予測）
- **相手から距離を置く**
（危険なもの、危険が予測されるものには近寄らない）
- **合図は早めに確実に行う**
（ウインカーを出さずに車線変更することは法律違反）
- **常にブレーキの準備**
（住宅街などでは不意の飛び出しを予測し、常にブレーキを踏める準備）
- **安全速度を守る**（交通状況に応じた安全速度で走行）



事故を起こさないほうが良いに決まっている

⇒ 事故が起きるリスクを軽減する

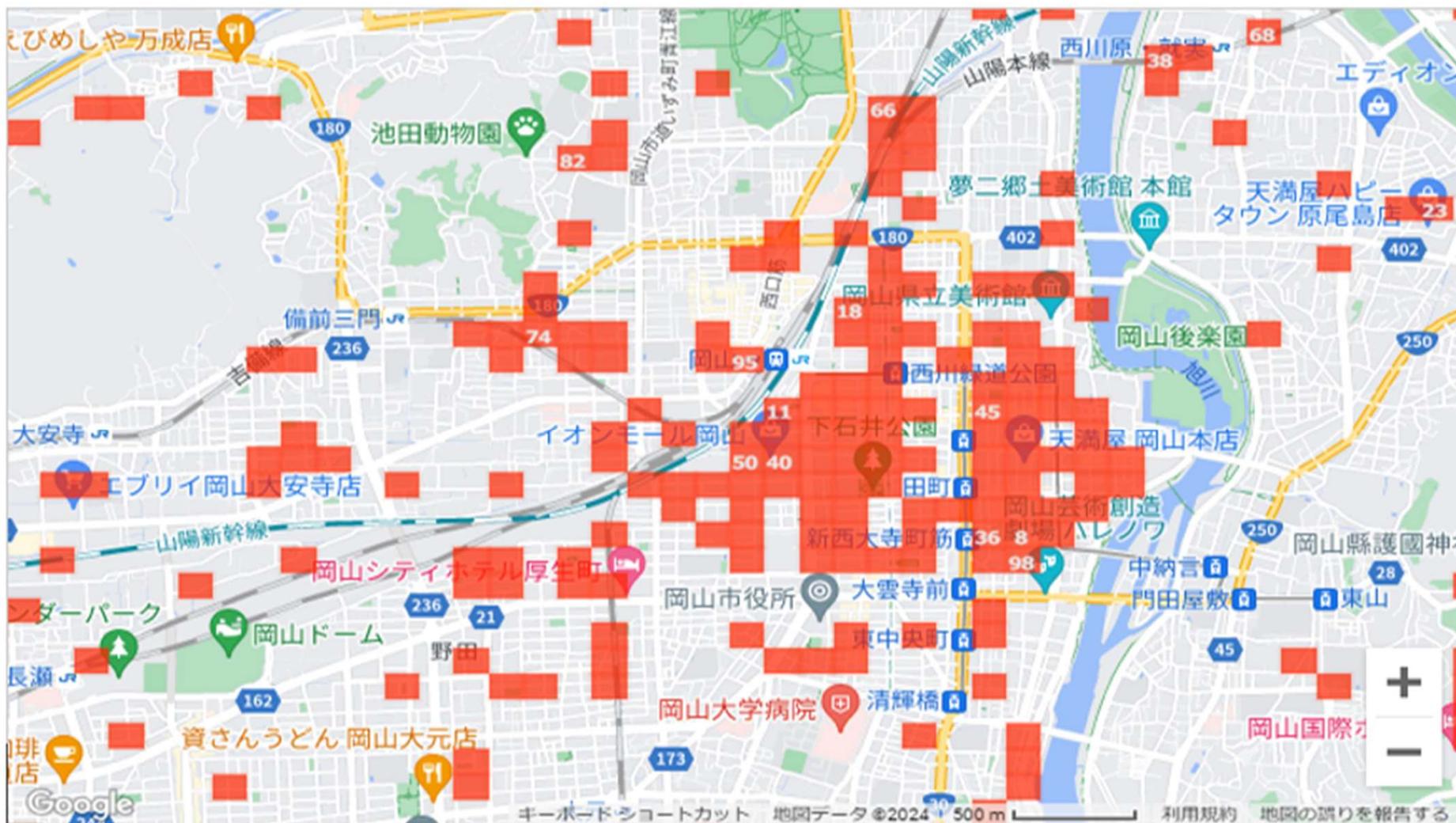
- ① 事故が起こりそうな場所を避ける、注意する
- ② 事故を防ぐ安全装置等を付着する
- ③ 発生しやすい事故形態を知る
- ④ 無事故カレンダーで注意を促す
- ⑤ 無違反者を表彰する

など





岡山市内テレマ交通マップ



◆データはプライバシー保護のため、統計化した上で個人が特定・識別できないように適切に加工しています。

◆マップに表示される急減速発生率等は当社基準に基づくものであり、その正確性等を網羅的に保証するものではありません。

あいおいニッセイ同和損保 提供

◆当社の許可なく本誌の一部、又は全部を複製・転載することを禁止します。



岡山市内の急減速率が高い場所 JR岡山駅前付近

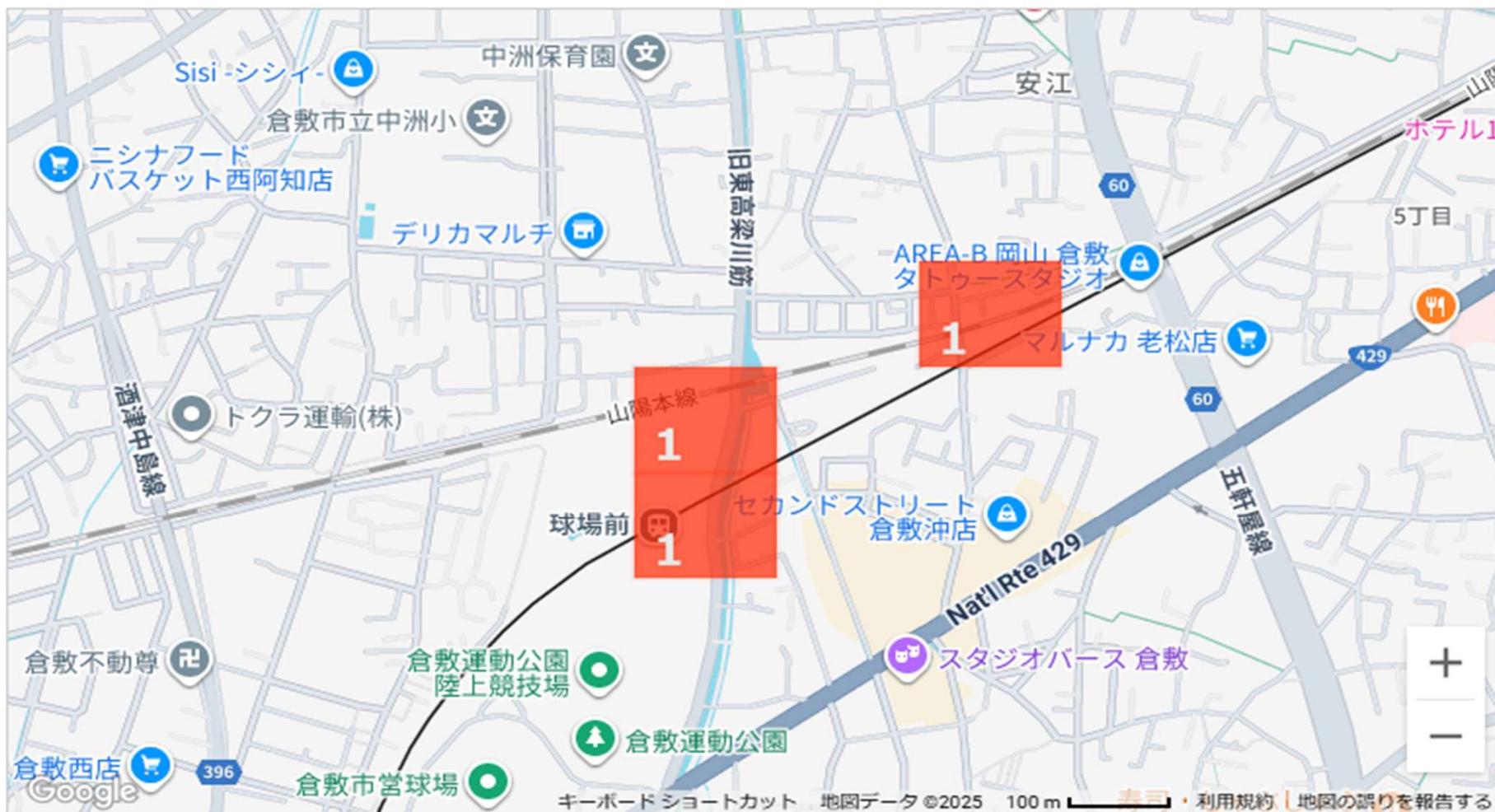
岡山県岡山市 (2023年1月~12月)





倉敷市内の急減速率が高い場所
山陽本線・水島臨海鉄道交差付近

岡山県倉敷市 (2023年1月～12月)

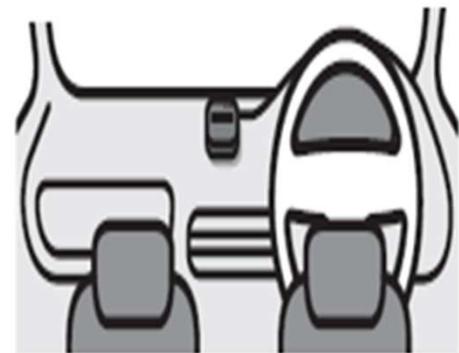




ドラレコ



タグ



スマホ連動





特長 1

お客さま専用サイトで各ドライバーの運転傾向がわかる!

運行状況や位置情報等を映像やグラフ、地図上で確認

運転レベルを点数化し、ランキング等で確認



特長 2

ドライバー自身が危険運転に気付く!



通信型ドライブレコーダーが事故につながるおそれのある危険な運転を検知すると、ドライバーに「ピー音」でお知らせします。管理者の目の届かない運転中も、アラート機能で運転への集中を促します。

特長 3

事故状況がスムーズに・正しく伝わる!





ノンフリート契約

この等級を決める

始期日

2019年

10/1

成績
= 事故件数

始期日

2020年

10/1

評価期間（1年間）



START

（ノンフリート等級） 「事故有係数適用期間」の新設

等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	7等級	8等級	9等級	10等級
事故無							-27%	-38%	-44%	-46%
事故有	+108%	+63%	+38%	+7%	-2%	-13%	-14%	-15%	-18%	-19%

等級	11等級	12等級	13等級	14等級	15等級	16等級	17等級	18等級	19等級	20等級
事故無	-48%	-50%	-51%	-52%	-53%	-54%	-55%	-56%	-57%	-63%
事故有	-20%	-22%	-24%	-25%	-28%	-32%	-44%	-46%	-50%	-51%

6等級から始まり、1年間無事故だと、1等級上がる(6等級→7等級～20等級)

保険を使うと、**原則3等級下がる** (6等級→事故有3等級) ※1等級ダウン事故もあり

3年間(1年間)**事故有等級**で推移



元の保険料を20万円とすると、
 18等級＝88,000円
 19等級＝86,000円
 事故有15等級＝144,000円

事例)

18 等級(56%割引)のお客さまが、対物事故を起こした場合



次年度の等級は？

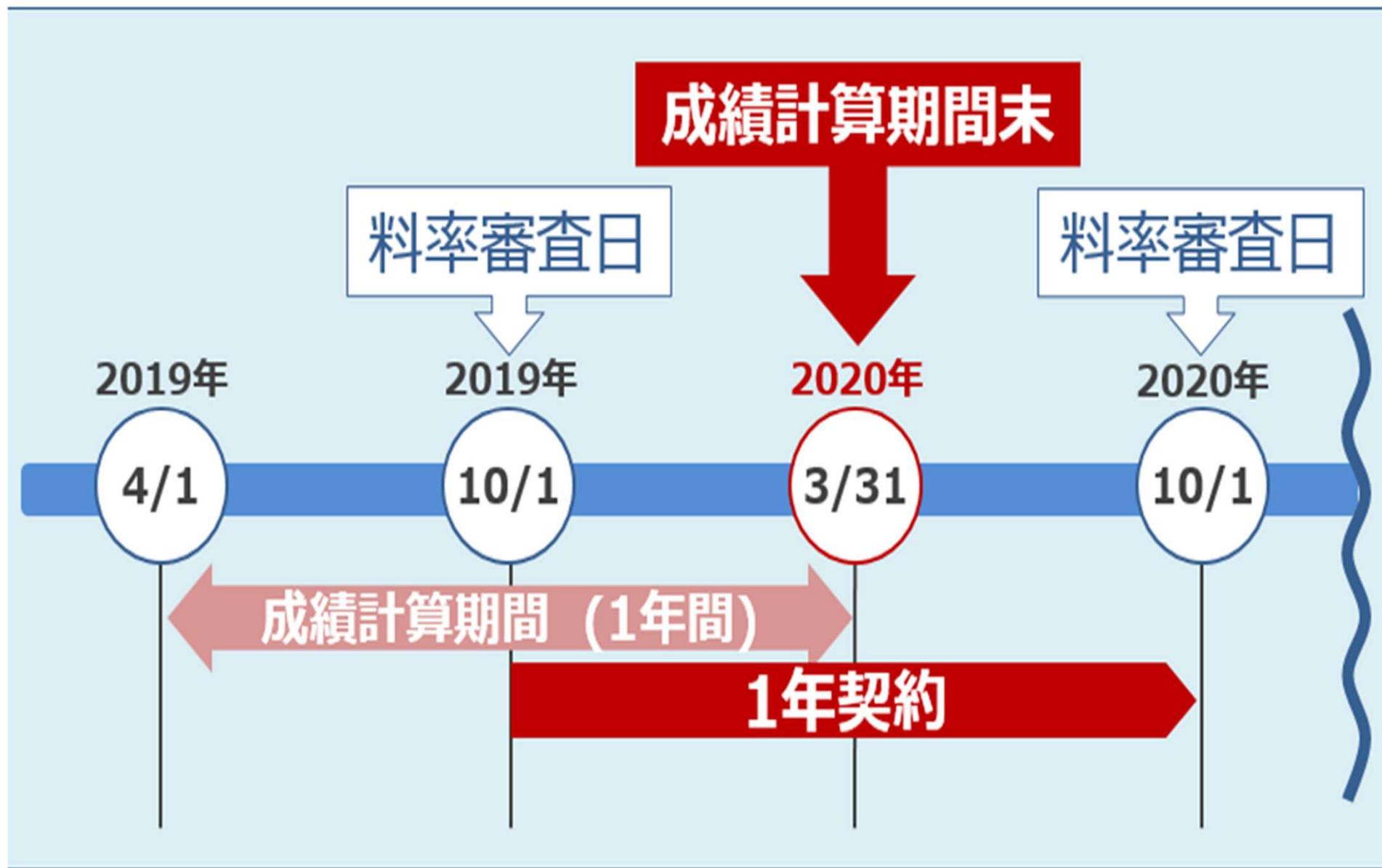
18 等級(56%割引)から 3 等級ダウン → 15 等級(但し、事故有等級 28%割引)になる

次々年度 16 等級(事故有等級 32%割引)、その次年度 17 等級(事故有等級 44%割引)、

3 年経過後に、18 等級(事故なし等級 56%)に戻る

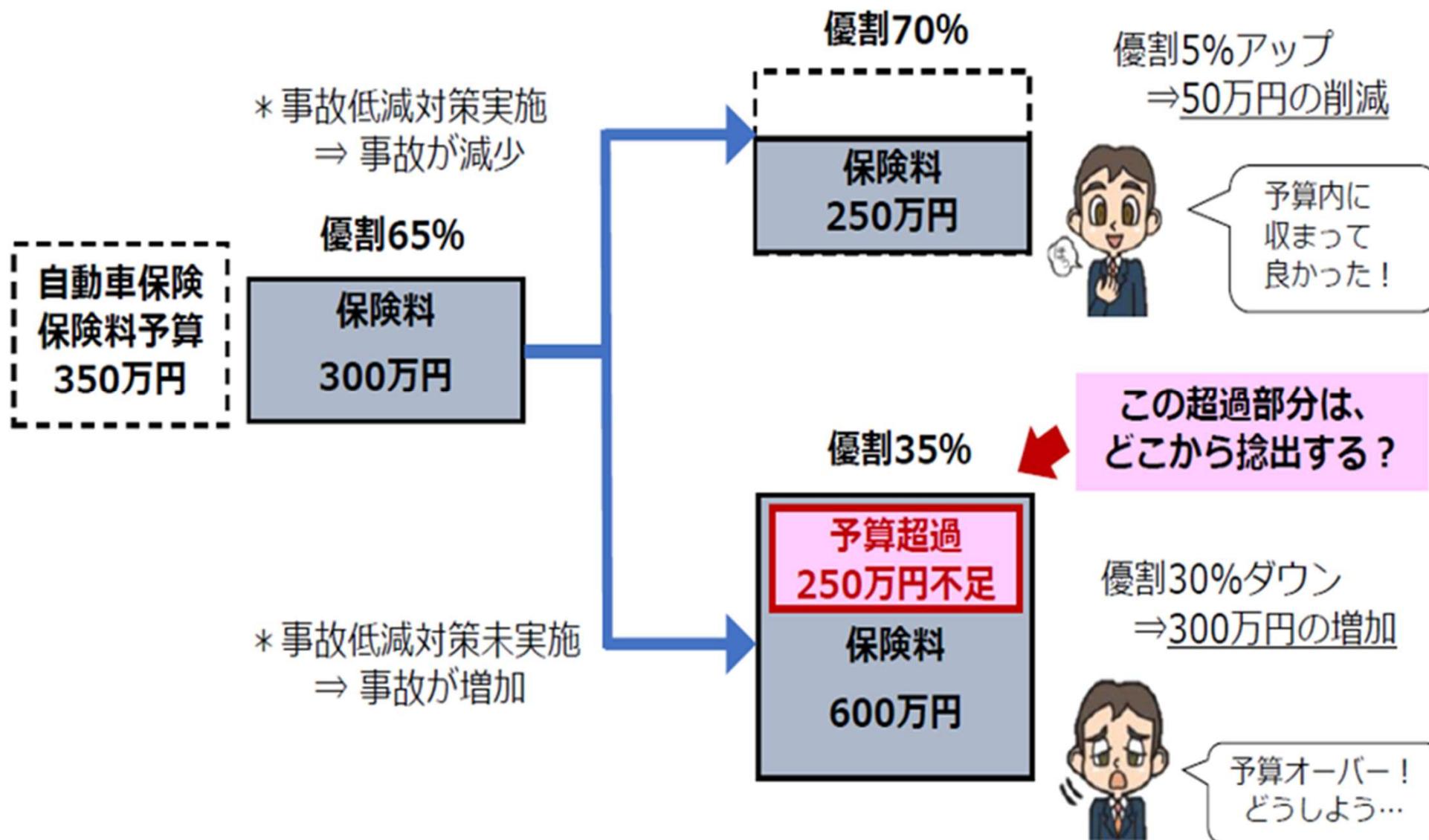


フリート契約(10台以上)の場合





成績計算期間の損害率で、次契約の割引が決定する

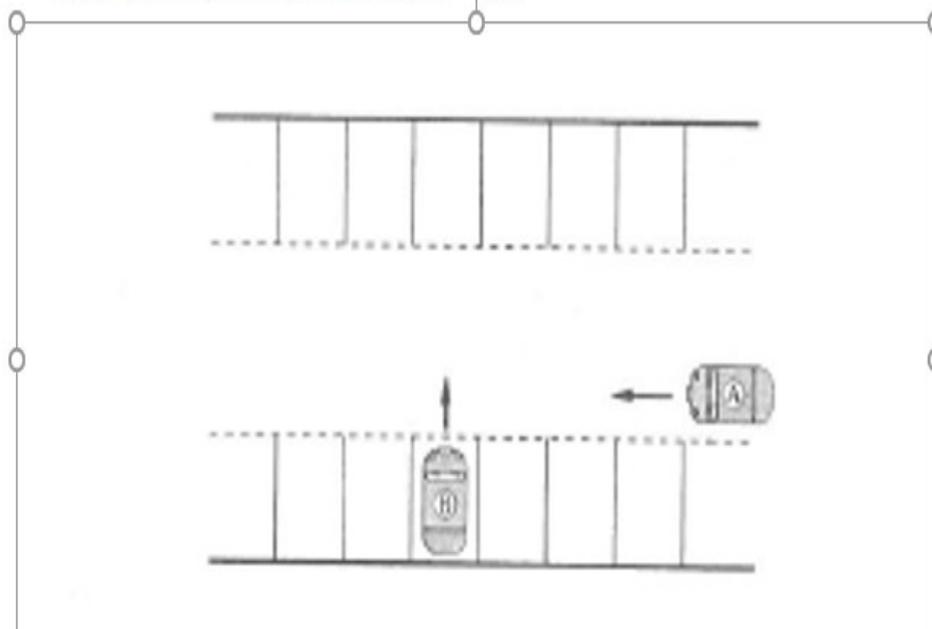




- ① 駐車場内の事故
(コンビニ・スーパー・ファミレスなど)
- ② 交差点手前・交差点内事故
(巻き込み・出会頭・割り込みなど)
- ③ 歩行者との事故
(一時不停止・信号無視・道路横断)
- ④ その他



【駐車場の事故】①



駐車場は、どこから車がでてくるかわからない。
どちらにも注意義務が生じる

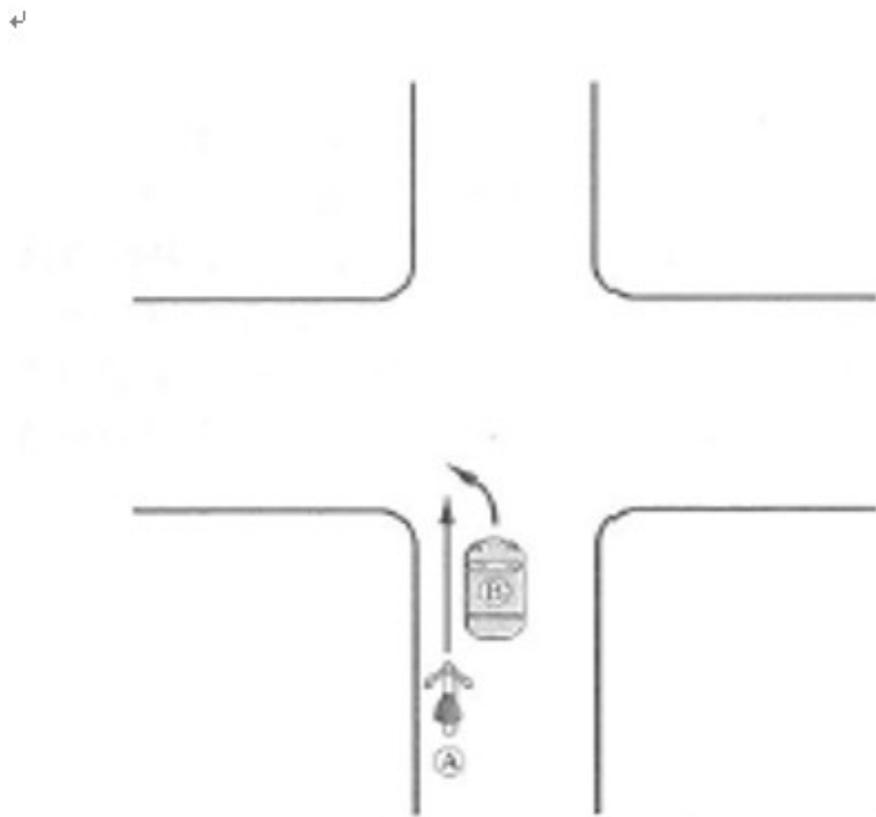
枠から出ようとしたB車と、直進してきたA車が衝突

基本責任割合は？

B : A = 70 : 30



【交差点手前の事故】②



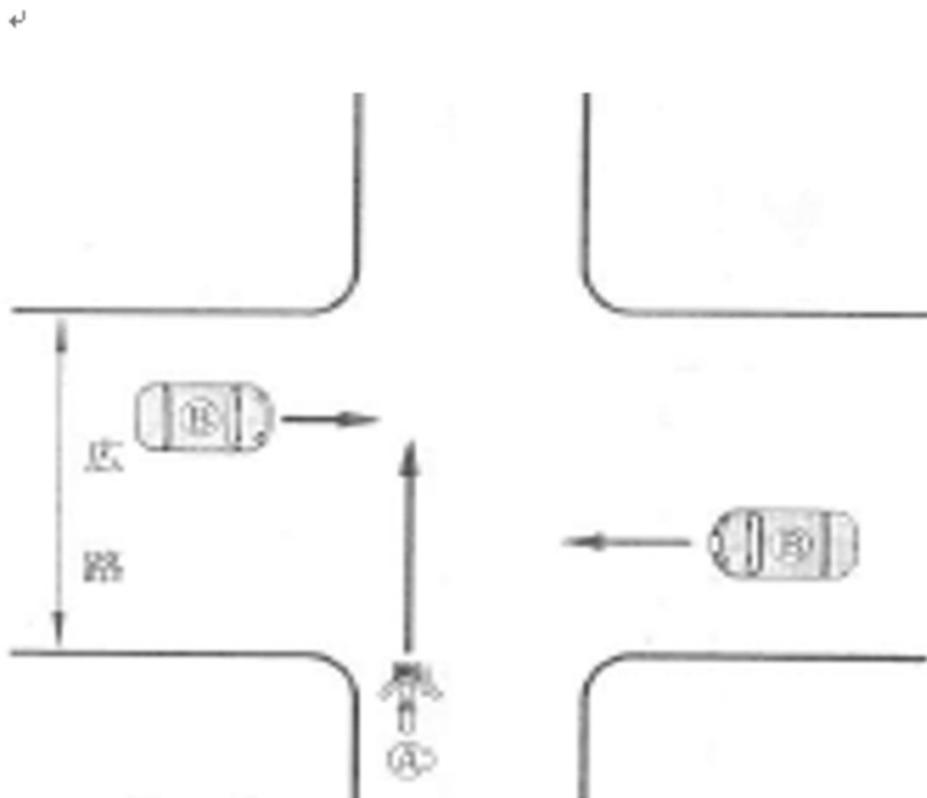
バイクは左側を走行するもの
どうしても車が悪くなる
左を空けない
先に通過させる

左折しようとしたB車と、左端を走行してきた単車A

基本責任割合は？ $B : A = 80 : 20$



【自転車との事故】①



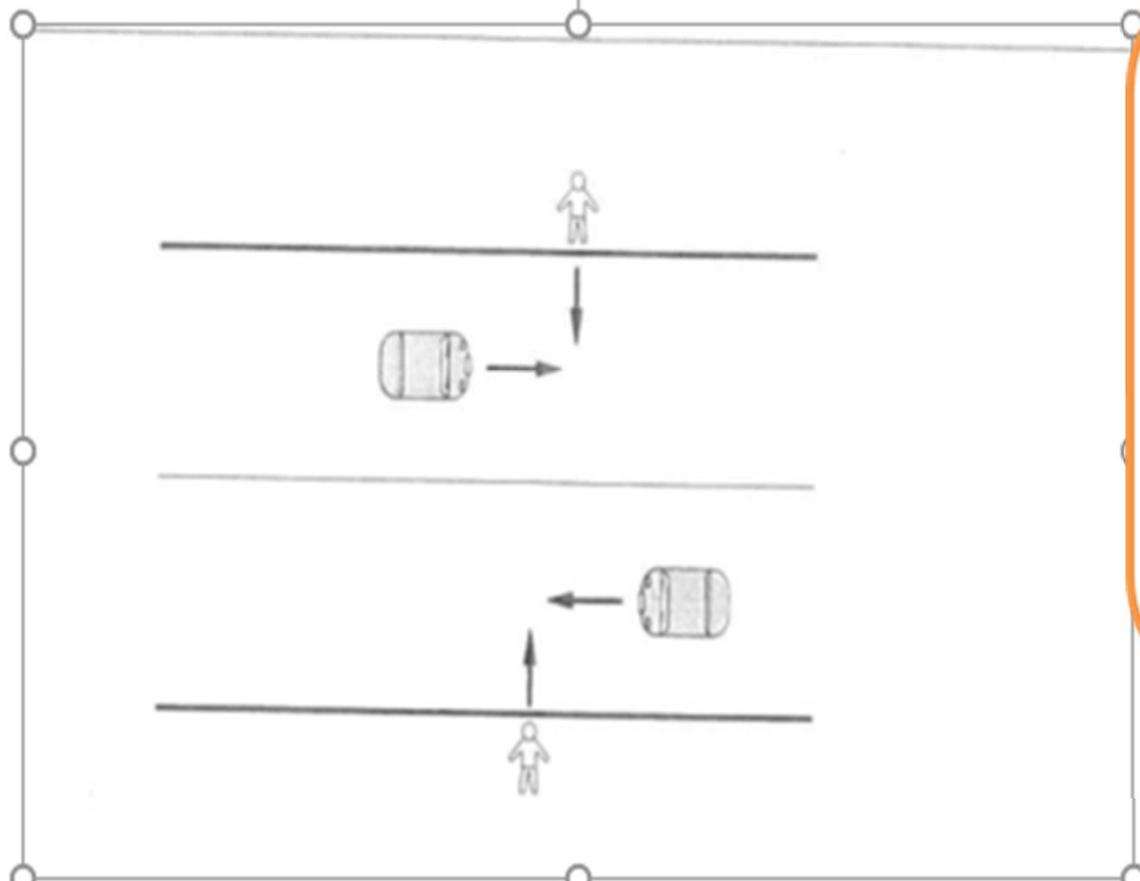
自転車が飛び出してきたても、車が悪くなる

狭路からでてきた自転車Aと、広路を直進してきたB車が衝突

基本責任割合は？ $B : A = 70 : 30$



【歩行者との事故】①



歩行者には
夜間、幹線道路、直
前直後横断などの
加算要素
幼児、児童、老人な
どは、減算要素有

道路を横断してきた歩行者と、直進車両が衝突

基本責任割合は？

車 : 歩行者 = 80 : 20



こんなケースは？



前の車のはねた小石が、後続車のフロントガラスに当たる
賠償責任は？ → **不可抗力のためなし**
(=対物保険の対象にならない)

但し、砂利道をあえて高速で走行した場合などは責任を問われる可能性あり
荷台からの落下は、当然責任を負うことになる

台風も一般的には、賠償責任なし
暴風で車が動いた、バイクが倒れて、隣の車に衝突した
(=対物保険の対象にはならないが、ガラスも台風も、車両保険は対象になっている)



追突事故は100:0です。

よって、煽られても、追突した車が100%悪くなります。
無理に割り込まれて、逆に追突してしまった場合も、
割り込み車が悪くなります。(0:100にならない場合もあり)

但し、お互いにバトルをしてしまった場合は異なります。
煽られたら無視することです。



過失割合

- 交通事故の当事者双方にどれくらいの責任があるかを数値で表したものです。例えば、「自身に30%、相手方に70%」等と割合で表されます。
- 過去の判例を参考に、双方で話し合いを行い当事者同士が合意することで示談が成立します。

一般的な保険会社の過失判断基準



『判例タイムズ』
過去の民事交通裁判の判例を
集約し定型化した冊子

出版社：判例タイムズ社





「著しい過失」

- ・著しい前方不注意
- ・著しいハンドル・ブレーキ操作不適切
- ・携帯電話等の通話使用および画像を注視しながらの運転
- ・おおむね15km/h以上30km/h未満の速度違反
- ・酒気帯び運転

「重過失」

- ・酒酔い運転
- ・居眠り運転
- ・無免許運転
- ・おおむね30km/h以上の速度違反
- ・過労、病気及び薬物の影響等の理由により、正常な運転ができない恐れがある場合





➤ 相手の行動を正しく読む

先の行動、目に見えない行動まで予測

➤ 相手から距離を置く

危険なもの、危険が予測されるものには近寄らない

➤ 合図は早めに確実に行う

ウインカーを出さずに車線変更することは法律違反

➤ 常にブレーキの準備

住宅街などでは不意の飛び出しを予測し、常にブレーキを踏める準備

➤ 安全速度を守る

交通状況に応じた安全速度で走行



～まとめ～

事故を起こさないために、交通ルールを改めて意識する

運転する際に、注意すべき義務について理解する

事故を起こした際の責任を理解する

事故の実態や悲惨さを知る



交通事故のない安心・安全なクルマ社会の実現



ご清聴
ありがとうございました



【講師】

あいおいニッセイ同和損害保険会社

岡山支店・中国損害サービス部